

しめTAC^{タック}シリーズ



しめTAC しめTAC
ホルダーと専用ニップルをセットで使用することにより、ホースの耐圧性能を最大限に発揮します!

安全

独自の抜け止め構造により安全性を確保。

簡単

現場での金具脱着が簡単。
しかも、繰り返し使用ができます。



ラインパワー-AT用
しめTAC^{タック}



ラインパワー-AT用しめTACの
使用例

ラインエース用
しめTAC^{タック}

各種専用ニップルとの組合せ例



鉄製Sカラーニップル



鉄製両口ニップル



鉄製 M1 ニップル



鉄製 JIS10KF 付ニップル

ラインパワー-AT用 しめTAC^{タック}

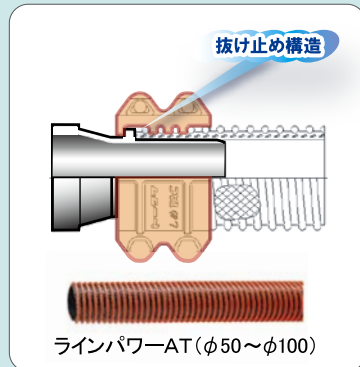
耐圧性能 1.0MPa!

鉄製ホルダー

適用サイズ：φ50～φ100



ラインパワー-AT用しめTAC
鉄製ホルダー



抜け止め構造

ラインパワー-AT (φ50～φ100)

ラインエース用 しめTAC^{タック}

耐圧性能 0.5MPa!

樹脂製ホルダー

適用サイズ：φ38～φ100



ラインエース用しめTAC
樹脂製ホルダー



抜け止め構造

パッキン

ラインエース (φ38～φ100)

ラインパワー-AT用
しめTAC^{タック}

ラインエース用
しめTAC^{タック}

共通ニップル

ラインエース用
しめTAC^{タック}
専用ニップル



樹脂製Sカラーニップル
サイズ：φ38～φ100



樹脂製PTニップル
サイズ：φ38, φ50



鉄製Sカラーニップル
サイズ：φ38～φ100
(SUS仕様もございます)



鉄製 M1 ニップル
サイズ：φ38～φ100
(SUS仕様もございます)



鉄製JIS10KF付ニップル
サイズ：φ38～φ100
(SUS仕様もございます)



鉄製両口ニップル
サイズ：φ38～φ100
(SUS仕様もございます)



カムロック633-CTS(SUS)
サイズ：φ38～φ100



カムロック633-ETS(SUS)
サイズ：φ38～φ100

※ ニップルは各種対応が可能です。詳しくは弊社までお問い合わせください。

ラインパワー-AT用 しめTAC タック

- 取付が簡単!
- 現場で脱着することができます。
- 繰り返し使用ができます。

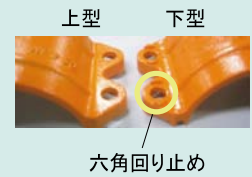
簡単 取付

取付手順

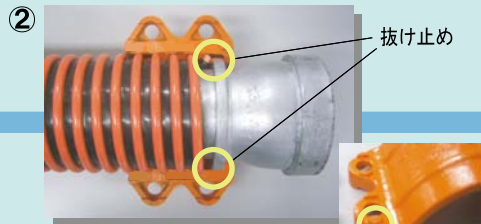
■ 準備品



■ 鉄製ホルダー



① ニップルを挿入します。入り難い場合は水、あるいは中性洗剤等を塗布します。



② ホースのカット端部を写真の位置に合わせて下型のホルダーをはめ込みます。この時、抜け止めが写真の位置に来るようにします。



六角回り止めがある方が、下型です。



③ 上型のホルダーを上からかぶせ、下からボルトを入れ、ワッシャーを載せます。



下型にボルトを入れる際、六角の回り止めに掛けます。



④ ボルト、ワッシャー、ナットを取付けて、ナットを軽く回し仮止めを行います。



⑤ 対角線の順にナットをラチェットで均等に締めて行きます。



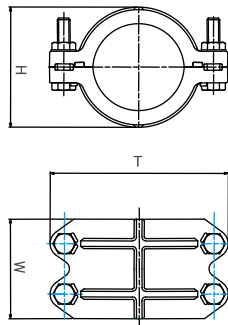
⑥ ラチェットによる締付けが困難になり、合わせ面の隙間が0～2mm程度になれば締付け完了です。

ラインパワー-AT用 しめTAC タック

鉄製ホルダー

呼び径	T	W	H	ボルトサイズ
50	113	63	79	M8
65	131	78	97	M8
75	153	90	112	M10
100	182	105	142	M10

※ ニップルは、必ずしめTAC専用品をご使用ください。

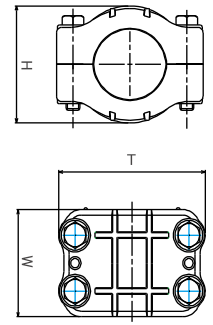


ラインエース用 しめTAC タック

樹脂製ホルダー

呼び径	T	W	H	ボルトサイズ
38	85	58	66	M8
50	104	63	81	M8
65	120	77	94	M8
75	135	88	108	M8
100	164	105	136	M8

※ ニップルは、必ずしめTAC専用品をご使用ください。



※このカタログに記載されている規格・寸法・仕様については、商品改良の為、予告なしに変更する場合があります。

東拓工業株式会社

http://www.totaku.co.jp/ E-mail:info@totaku.co.jp

本社 / 〒532-0035 大阪市淀川区三津屋南1丁目1番33号
TEL 06 (6308) 6657 FAX 06 (6308) 6761

東京支店 / 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-8-15 (イーピア岩本町一丁目ビル1F)
TEL 03 (5821) 8192 FAX 03 (5821) 8202

北海道 / TEL 011 (221) 3366 中国 / TEL 082 (241) 1466
東北 / TEL 022 (296) 2551 四国 / TEL 087 (833) 0822
中部 / TEL 052 (581) 7761 九州 / TEL 092 (431) 6120
北陸 / TEL 076 (443) 6230

■ お問い合わせは